

目をこらして (6)



「かずほね、今日すごくへんなことしたんだ。」

突然娘が言い出したので、いったいどんなことだろうと
思っけて聞き返すと、思いがけない答が返ってきた。

「ミツバチってこういう気持ちなんだなあって初めてわ
かったの。」「？」

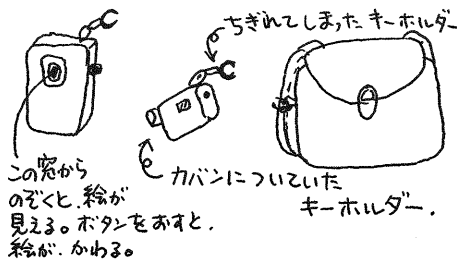
「かずほね、花の蜜吸ってみたの。甘かったよ！」

娘は、今日、初めてツツジの花の蜜を吸ってみたのだと
いう。『新鮮な気持ちっていいな』とوراやましくなった。

何にでも興味をもち全身興味のかたまりという感じの子
(Gちゃん)がいた。やりたいと思えば、どこへでも飛び
込んでいくので、「やめて」とよく苦情を言われた。

ある日、お弁当の仕度をしていたら、Rちゃんの泣き声
が聞こえてきた。Gちゃんが、Rちゃんのカバンについて
いたキーホルダーを取ってしまったのが原因だった。見る
と、困ったような表情で立っているGちゃんの手には、カメ
ラ型のキーホルダーが握られていた。回りには人ばかりが
できていて口々にGちゃんを責めていた。

「だってだって、見たかったんだもん」と泣きそうになり





耳をすまして



ながらこたえるGちゃん。カメラ型のキーホルダーは、中を覗いてボタンを押すと絵が変わっていく式の物だった。

「Gちゃん、見たかったんだったら見せてって言うんだよ。黙って取っちゃダメだよ」と私が話していると、さっきまで泣いていたRちゃんが「見せてっていえば見せてあげるよ」と言ってくれた。こうして、Gちゃんは、念願のカメラをのぞいて見る事ができた。

「うわー」とうれしそうにカメラをのぞいているGちゃんの様子に、さっきまで「いけないんだ!」と口々に言っていた子どもたちの表情が変わってきた。

「もしかして、本当はみんなも見たいの?」と聞くと、「うん! 見せて!」そう言うと、ずらっとGちゃんの後ろに並んでしまった。

わがままだと叱られる子は、実はみんなのやりたい気持ちの代弁者のなのかもしれない。Gちゃんの「やりたい」に振り回されながら、『やりたい気持ちっていいな』と、やっぱりうらやましくなった。

絵と文 宮里暁美 (目黒区立ふどう幼稚園)